

GUARDIANWALL V7.5.00 リリースノート

GUARDIANWALL V7.5.00 は、GUARDIANWALL V7.4.00 for Linux『【GUARDIAN】アップデートモジュール 20131004』までの修正内容に加え、次の機能追加および修正／変更がなされました。

1. 機能追加

GUARDIANWALL V7.5.00 (GUARDIANSUITE V4.6.00)へのバージョンアップにおいて、以下の機能が追加されました。

(1) Office2013 形式ファイルのフィルタリングに対応

Office2013 にて作成したファイルの検査(パスワード有無判定、キーワード検査、MIME タイプ検査、個人情報検査、ファイルタイプ検査)に対応しました。

(2) 固定パスワードによる添付ファイル暗号化機能の追加

従来のバージョンでは、ランダムに生成されたパスワードによる暗号化のみでしたが、本バージョンでは、従来のランダムパスワードによる暗号化に加え、任意の固定パスワードを指定し、添付ファイルを暗号化する機能が搭載されました。

検査・配送ルールごとにランダムパスワードによる暗号化と固定パスワードによる暗号化を選択可能になったことで、より柔軟にフィルタリングを実施できます。

(3) 添付ファイル暗号化ファイル名指定機能の追加

従来のバージョンでは、CUI より設定ファイルを直接編集することでしか暗号化ファイル名を変更することができませんでしたが、本バージョンより、管理画面から暗号化ファイル名を変更する機能が搭載されました。

(4) メール配送状況へ添付ファイル暗号化を行ったメールの表示機能の追加

[共通]-[検査サーバー管理]-[状況確認]-[メール配送状況]より、添付ファイルの暗号化を行ったメールを判別する機能が搭載されました。

暗号化を行ったメールの「動作」欄に「暗号化」と表示されます。

(5) 統計情報へ添付ファイル暗号化を行ったメールの表示機能の追加

GUARDIANWALL にて添付ファイル暗号化を行ったメールの件数が、[メール]-[ログ閲覧]-[ログ閲覧]-[統計情報]と[統計情報グラフ]より閲覧できるようになりました。

統計情報と統計情報グラフの「メール処理総数」と「保留メール処理総数」にて「内暗号化有」の項目が追加され、そこに添付ファイル暗号化を行ったメールの件数が表示されます。

(6) パスワード通知メールのカスタマイズ機能の追加

添付ファイルを暗号化した際に差出人(もしくは受信者)宛に通知されるパスワード通知メールの内容をカスタマイズする機能が搭載されました。

[メール]-[システム管理]-[添付ファイル暗号化設定]-[パスワード通知メール]の「通知メール切り替え」にて、「登録した通知文を使用する」を選択し、メール標題と通知文に任意の文言を設定することで、運用に合わせたパスワード通知メールを送信できます。

(7) グループ一覧画面の表示件数変更機能の追加

登録済みグループ一覧画面の 1 ページあたりの表示グループ件数を変更する機能が搭載されました。

[メール]-[ポリシー設定]-[グループ]にて、1 ページに表示するグループ件数を設定し、[表示]ボタンをクリックすることで、設定された件数ごとにグループを表示できます。

(8) グループ検索機能の追加

グループに登録されているグループ名/コメント、メールアドレスを検索する機能が搭載されました。

グループ名/コメント、メールアドレスに対し検索キーワードにヒットしたグループが一覧で表示され、検索結果からグループを選択し、登録アドレスの編集や削除などの操作が可能です。

また、検索結果からグループを選択し、グループ編集画面の「キャンセル」ボタンまたはグループ削除画面の「一覧へ戻る」ボタンをクリックすると、検索後の画面へ戻ることができます。

(9) 利用者管理によるアカウントのパスワード変更機能の追加

利用者管理アカウントにより、情報管理者、部門情報管理者、システム管理者で登録されている各アカウントのパスワードを変更する機能が搭載されました。

利用者管理でログイン後、任意のアカウントを選択し、パスワードを変更できます。

(10) アカウント検索機能の追加

情報管理者、部門情報管理者、システム管理者で登録されているアカウント名および名前を検索する機能が搭載されました。

検索キーワードにヒットしたアカウントは一覧で表示され、検索結果からアカウントを選択することで、登録アカウントの編集や削除などの操作が可能です。

また、検索結果からアカウント名を選択し、アカウント編集画面の「一覧へ戻る」ボタンまたはアカウント削除画面の「一覧へ戻る」ボタンをクリックすると、検索後の画面へ戻ることができます。

(11) アカウント一覧画面の表示件数変更機能の追加

情報管理者、部門情報管理者、システム管理者の一覧画面について、1 ページあたりの表示アカウント件数を変更する機能が搭載されました。

各アカウントの管理画面にて、1 ページに表示するアカウント件数を設定し、[表示]ボタンをクリックすることで、設定された件数ごとに昇順にソートされた状態でアカウントを表示することができます。

2. 修正

GUARDIANWALL V7.5.00 (GUARDIAN SUITE V4.6.00) へのバージョンアップにおいて、以下の不具合を修正しました。

(1) 過去バージョンからアップグレードをすると、一部の保留メールが閲覧できない不具合
GUARDIANWALL Ver7.0 未満から、保存対象外となるメールが保留されている状態でアップグレードインストールを行うと、保留メール管理画面で保留メールが表示されないという不具合がありましたが、これを修正しました。

(2) GUARDIANWALL 起動スクリプト(Guardian.pub)がオプションにより動作が異なる不具合
一時保留メールの管理画面ログインをオフにした状態で、Guardian.pub を再起動するとエラーが出力される不具合がありましたが、これを修正しました。

(3) 『【GUARDIAN】アップデートモジュール 20130517』適用後の環境にて、一度に大量の件数を処理できない不具合
GUARDIANWALL7.4 に『【GUARDIAN】アップデートモジュール 20130517』を適用済みの環境にて、以下の対象画面より、一度に大量の件数を処理(例えばグループに1000 件以上のアドレス登録)しようとするエラーとなる不具合がありましたが、これを修正しました。

＜対象画面＞

- ・[共通]-[管理サーバー管理]-[拡張機能]-[スケジューラー]-[メールグループ更新]
- ・[メール]-[ポリシー設定]-[グループ]
- ・[共通]-[利用者管理]-[情報管理者]-[LDAP インポート]
- ・[共通]-[利用者管理]-[部門情報管理者]-[LDAP インポート]
- ・[共通]-[利用者管理]-[システム管理者]-[LDAP インポート]

(4) 『【GUARDIAN】アップデートモジュール 20111114』適用後の環境にて、検査・配送ルールに「\$」を設定しても管理画面上に「\$」が表示されない不具合
GUARDIANWALL7.4 に『【GUARDIAN】アップデートモジュール 20111114』を適用済みの環境にて、検査・配送ルールに「\$」を設定しても、実際の設定は「\$」が有効になっているのに管理画面上では「\$」が表示されない不具合がありましたが、これを修正しました。

(5) ヘッダーTO のないメールに対し受信者宛の暗号化パスワード通知が送信できない不
具合

添付ファイル自動暗号化機能がオンの状態で、パスワード通知メールを受信者宛に送信する設定となっている場合に、ヘッダーTO のないメールの受信者宛パスワード通知メールが送信できない不具合がありましたが、これを修正しました。

(6) セキュリティの強化

製品のセキュリティを強化しました。

3. 変更

GUARDIANWALL V7.5.00 (GUARDIANSUITE V4.6.00)へのバージョンアップにおいて、以下の仕様を変更しました。

(1) LDAP 連携におけるリファラル参照設定の管理画面表示

従来のバージョンでは、設定ファイルを編集し、LDAP_opt_referrals パラメータの設定を変更することでリファラル参照のオン、オフを切り替えていました。本バージョンでは、[共通]-[管理サーバー管理]-[基本設定]-[管理サーバーパラメータ]の「LDAP サーバー設定」にて、「リファラル参照」のオン、オフを切り替えるよう変更しました。

(2) アカウント名の使用可能文字の変更

アカウント名に「-」と「.」が使用できるよう変更しました。

「-」、「.」は、アカウント名の先頭と末尾を除く位置に使用できます。

4. システム要件

GUARDIANWALL V7.5.00 を利用するには、以下の要件を満たしたハードウェア／ソフトウェアが必要となります。

【サーバ条件】

OS	RedHat Enterprise Linux Version 5 以下のパッケージがインストールされている必要があります。 ed、tcl、compat-db(32bit)、compat-libstdc++-33(32bit)、 mt-st RedHat Enterprise Linux Version 6 以下のパッケージがインストールされている必要があります。 compat-db(32bit)、compat-expat1(32bit)、 compat-libstdc++-33(32bit)、cyrus-sasl-lib(32bit)、 libuuid(32bit)、mt-st、ncurses-libs(32bit)、tcl
CPU	上記 OS が動作する IA-32(Pentium 以上)、Intel64 プロセッサ (Itanium2 は非対応)
ディスク容量	管理サーバー /opt 最低:1GB、推奨:※ /var 最低:100MB、推奨:1GB 検査サーバー /opt 最低:1GB、推奨:※ /var 最低:100MB、推奨:500MB 管理サーバー+検査サーバー /opt 最低:1GB、推奨:※ /var 最低:100MB、推奨:1GB ※システム稼動後は各種データが出力／保管されますので、運用を考慮した空き容量を用意してください。

【管理用クライアント条件】

OS	Windows XP SP3、Windows Vista SP2、 Windows 7 SP1、Windows 8
ウェブブラウザ	上記 OS で稼働している Internet Explorer 7.0、8.0、9.0、 10.0
その他条件	ウェブブラウザの JavaScript が有効であること

以上